

## 〈解答〉

- ① 1 〔例〕 投球後の有一の、マウンドの上でうつむき、彰浩の視線を避けているような心細げな（様子）。（38字）
- 2 〔例〕 さらに野球がおもしろくなったという事実だけが大切だ（25字）
- 3 A 校門の傍ら B 見事な枝垂れ桜の大樹（両解）
- 4 エ

配点 ①1、2は各3点、他は各2点 10点満点

## 〈解説〉

- ①
- 1 傍線部①の直前にある「一球を受け取り、顔をあげると有一は、マウンドの上でうつむいていた。彰浩の視線を避けているような態度だ。ちょうど吹き始めた風にそのまま運ばれてしまいそうなほど心細げに見えた。」という三文の内容に注目し、「マウンドの上でうつむいていた」「彰浩の視線を避けているような態度」「心細げ」という有一の様子をうまく入れて、答えをまとめる。
- 2 傍線部②の直後に、「有一がチームに加わったことで、さらに野球がおもしろくなった。それだけが彰浩にとっての事実だった」とあるのに注目する。彰浩にとっては、有一がチームに加わったことで、さらに野球がおもしろくなったという事実だけが大事なのであり、有一の家庭の事情を勘ぐったり、気づかたりするべきではないと考えているのである。
- 3 傍線部③の前後をよく読む。「桜は『時勢の流れ』になど与しない……しかし、人の建てた物は『時勢の流れ』の中で人に捨てられたときから、息が止まり腐敗していく」とあるので、「人の建てた物」と対になっているのが「桜」であることがわかる。この「桜」が、具体的にどのようなものであるかを文章中から読み取り、空欄に当てはまることばを考える。
- 4 本文の最後の二文、「終焉は、一年後だ。彰浩たちは、それを見届ける役目を負うていた。」という部分からも、主人公たちの置かれた厳しい現状が読み取れ、切なさを感じさせる。このように、本文全体に、主人公の暗く悲しい気持ちが表現されていることから、エを導き出す。